

NF 通信

ice arther



Vol.11

column

01

専門家コラム

西村医院 小児科医師 瀧上 佐智子さん



私は保健センターや子育て支援センターなどで親御さん向けに子どもの病気のお話をしています。今思えば会場はほとんどがお母さんでお父さんにお話はしていませんでした。今回から数回に分けて子どもの病気、健康についてお話をすることにしてしましよう。

いわゆる「かぜ」は病気の名前ではなく「かぜ症候群」と呼ばれる症状をまとめた言葉です。くしゃみ、鼻水、発熱、喉の痛み、咳などの症状をまとめたものです。80%~90%がウィルス感染によるもので、その数は200以上とされています。これといった特効薬がありません。症状を和らげる対処療法が主な治療となります。個々のウィルスに対して戦うことで体内に抗体が作られて蓄積されていきます。こどもはまだ免疫力が整っておらず大人に比べて「かぜ」の経験も少ないので、繰り返しかぜをひいて抗体を作っていく抵抗力を獲得しているというわけです。保育園に入園した途端風邪ばかりひいてほとんど通えない、ずーっと鼻水が出ていると不安になる事はありませんか。大丈夫ですよ。「あれ？1ヶ月風邪ひいてない」という時が必ずきます。頑張れ赤ちゃん、踏ん張れパパママ。

column

02

NFリレーコラム

前田 祐希さん



仕事で一緒にいることが出来ない時間がある分、一緒に居る時は子どもを最優先にして過ごすようにしています。最近は、食事を作って食べさせたり、お風呂に入った後一緒に寝たりで生活の一部に関わるようにしています。

元々は、子育ては妻に任せておけばいいと思っていました。新生児の頃は怖くて抱き上げることも出来ませんでした。日々娘と接することで親としての自覚がでてきたように思います。今では娘と関わる時間が自分が幸せを感じる瞬間になっています。

あなたも投稿してみませんか

採用者には、こども商品券贈呈！

